

朝ドラに物申す

内藤 真理子

『おしん』の昔から朝ドラの大ファンである。朝ドラの時間を軸に、私の朝の生活パターンが決まっている。

ちなみに現在は、BSで過去の朝ドラの再放送が始まる七時十五分〜現在の朝ドラが終了する七時四十五分までの時間を確保する為に、朝の仕事をそれまでに終了させ、又は中断して、その時間はひたすらテレビの前に座っている。

私事だが、この時間を確保するためには、いささか苦勞があった。

夫はテレビドラマが「大嫌え」なのだ。

「どうして大嫌いじゃないの？」と聞くと、最大級の嫌いだそうだ。

私は、テレビドラマが大好きなので、食事の前後以外、夫が二階で過ごしている間は居間のテレビで好きなドラマを見ている。だからと言って、朝ドラは譲れない。だが「大嫌え」なのに食事をしながら一緒に見るわけにもいかない。そこで、渋る夫を説得して、食事時間の前の三十分を朝ドラの為に確保したのだった。

そんな貴重な時間なのに朝ドラときたら・・・。

元来、朝ドラは月曜から土曜日まで一日十五分のドラマを連続で六日間放映している。だが現在は、土曜日は一週間のおさらいと称して、月曜〜金曜のドラマを振り返るのである。先に進まないし、同じ場面を二度見る羽目になる。

昔から、総集編なるものはあった。それは半年とか一年続いた番組の「感動をもう一度！」という趣旨のもので、特別に時間枠を取つての放映だった。

一週間に一度、その週の復習をされると、小学生でもあるまいに、

「視聴者を馬鹿にするな！」という気分になる。

始まりは、コロナ禍でテレビ制作が困難になり収録していたものが残り少なくなつたことからの苦肉の策だったのだろう。事情は分かるものの見る気になれない。

コロナ禍最初の緊急事態宣言からもう二年近くが経つ。土曜日の復習版も恥ずかしげもなく三作目に突入している。

こんなに長い間、土曜の朝の楽しみを取り上げないですよ！

土曜も手を抜かないできちんとドラマを創つてよ！

切に思う私です。